

かほだより

R7-6号
R7. 7. 22

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地: 伊那市西町5764
伊那諏訪家畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

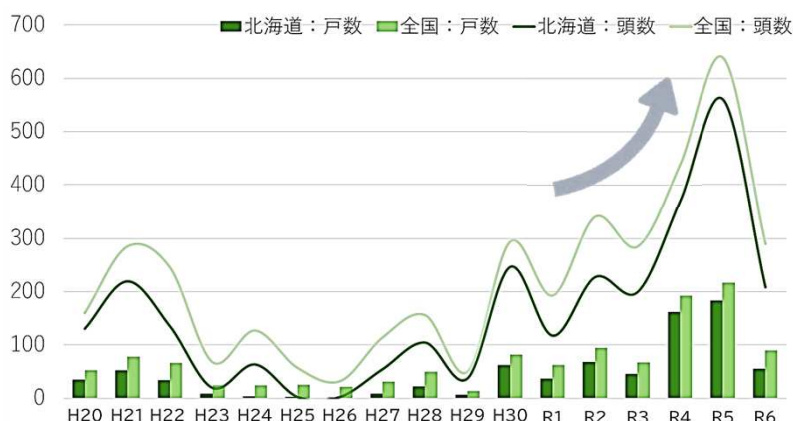
北海道で牛サルモネラ症の発生が増加傾向

北海道導入牛等の健康状態に留意し、
必要に応じてサルモネラ検査を実施しましょう。



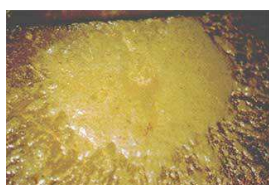
牛サルモネラ症とは？

- ・サルモネラ属の菌による感染症
- ・血清型チフムリウム(Typhimurium), ダブリン(Dublin), エンテリティディス(Enteritidis)に因るものは届出伝染病
- ・日本での発生はチフムリウムが約6割、ダブリンも近年増加傾向



症状

- 黄灰色または血性水様下痢、泥状便、粘血便（粘液、偽膜を混じることあり）
- 発熱、食欲不振、消瘦、突然死
- 関節炎や神経症状、ときに肺炎（特にダブリン）
- 若いほど感染・重症化しやすい
- 搾乳牛で乳量低下
- 妊娠牛では早産、流産も



黄灰色水様下痢

発生時の対応

- 保菌牛を摘発し、治療または淘汰
→ 抗生剤が効きづらく、治療は難しいことも
- 清掃・消毒と野生動物対策を徹底
→ 発症牛の唾液や下痢中に大量に排菌されるため、環境が汚染される。さらに野生動物が保菌して運び、感染を拡げる。
- チフムリウムとダブリンはワクチンがあり、発症予防のために使うことがある。
(ただし感染防御は期待できない)

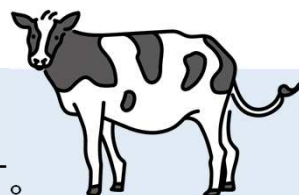
発生すると損失が大きく、清浄化まで時間と労力を要する病気です！

農場にサルモネラを侵入させないために、北海道からの導入牛・預託戻り牛については、隔離期間をおき、特に下痢等の症状がみられた場合には、サルモネラ検査を実施することをお勧めします。

検査について

糞便があれば検査できます。結果は1週間程度で判明します。

※下痢症状がみられない場合、糞便検査のみでは感染の有無について判定困難なことがあります。
(特にダブリン感染では、しばしば下痢がみられないことがあります。)



検査についてのお問合せは 伊那家畜保健衛生所 防疫課 (☎ 0265-72-2782) まで